

はじめに

皆さんは、これから学則や学修規程等の諸規則に従い東京科学大学大学院での学修を進めることになります。この冊子は、学修上の重要な事項をまとめたものであり、原則として皆さんが修了するまで適用されます。本学の教育の仕組みをよく理解し、学修を進めてください。

本学が期待すること

本学は「「挑戦し続けるフロントランナー」と「知と癒しの匠」としての気概と人間力をあわせ持ち、「科学の進歩」と「人々の幸せ」とを探究し、社会とともに新たな価値を創造する高度専門人材を輩出すること」を大学全体の教育目標として掲げ、修士課程では「国際的に貢献できる科学技術の専門家」、博士後期課程では「「科学の進歩」と「人々の幸せ」とに貢献できる科学技術のフロントランナー」、専門職学位課程では「イノベーション創出のリーダーとして、科学技術を活用し、自らの理論を構築して産業や社会の発展に貢献できる実務家」となるよう教育カリキュラムを組んでいます。

在学中は、何事にも主体的に臨み、向上心を持って自分をどこまで高めることができるかという意気込みと国際感覚を身につけることを常に意識し、積極的に多様な活動に挑戦してください。そして、学位の取得後に、東京科学大学修了生という立場を活かしどのような場所で社会貢献できるのかを見据えながら学修と研究に勤んでください。

本学の教育の仕組み

(1) 修博一貫の教育体系

「修博一貫の教育体系」とは、修士課程と博士後期課程の教育カリキュラムを連続的に学修できるよう編成された教育体系を意味します。よって、修士課程の入学から博士後期課程の修了まで見通すことができ、自らの興味・関心に基づく多様な選択・挑戦が可能になります。

(2) 学びの多様性とくさび型教育

大学院では、自身の選択するコースでの学修による知識の深化と、知識の拡大のため各種プログラムが用意されており、自身で選択することが可能です。

また、社会で活躍するためには、しっかりとした専門知識を身に付けていることの他に、人文社会科学や語学などの幅広い知識を身に付けていることが必要であることから、本学伝統の教育方法として、教養教育と専門教育を有機的に関連させ、知識や能力をスパイラルアップさせる「くさび型教育」を実践しています。よって、各課程で文系教養科目、アントレプレナーシップ科目を必修化しています。

学修等の支援と授業の支援

指導教員が皆さんの研究面を支援するほか、アカデミック・アドバイザーが修学及び進路に関する相談又は指導等のきめ細やかな支援を行います。特に、履修申告の際は、指導教員の承認を得る必要がありますので、しっかり自身の考えや研究の方向性等を指導教員と相談してください。

この冊子をよく読んで使いこなし、自分のペースに合う学修・研究計画を立て、夢の実現に向けた第一歩を踏み出してください。